



希 望

第142号
2019.1月号

医療法人 済衆館 済衆館病院
〒481-0004 北名古屋市鹿田西村前111番地
TEL.0568-21-0811(代表)
FAX.0568-22-7494
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp
https://saishukan.com

マンスリー 済衆館だより

裏面：災害訓練を行いました

謹賀新年

院長 秋山 清次

新年あけましておめでとうございます。昨年は新館運用開始後約3年
が過ぎ、ようやくベッド稼働も安定し、ほっと一息ついたところでございま
す。これもひとえに地域の皆さまならびに近隣の開業医の皆さまのおか
げと心より感謝申し上げます。私が済衆館に赴任いたしましたから12年
になりますが、この間に病院トップである理事長の交代、新館建設と大き
な変化がございました。特に新館建設は厳しい医療環境の中、新理事
長を中心に病院の目指す方向を“地域とともにあるスーパーケアミックス
病院(すべての病期に対応)”と大転換しました。超高齢化社会への急

激な変化と政府の医療費削減方針のもと、急性期病院から次々と退院
を迫られる高齢者を考えると、まさにタイムリーな選択であったと考えて
います。当院では急性期病棟で治療を受けた後、自宅での生活が難し
いと判断された高齢者は、回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟で
余裕を持って入院を続けることができます。その後は地域医療連携室、
訪問診療、訪問看護、デイサービスと、病院機能を総動員して地域の
高齢者の生活を支えていきたいと思っております。今年も済衆館はスー
パーケアミックス病院の理念に燃え、急性期病棟、回復期リハビリ病棟、
地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟、療養型病棟、透析センターとそれ
ぞれの役割を担い、社是である三方(患者さま、地域、病院)よしの精
神をもって頑張る所存でございます。どうか皆さまの今までと変わらぬご
支援をよろしくお願いいたします。

外来診療担当医表(1月)

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------|------------|---------------------|---------------------|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|
| 内科 | 午前 | 横崎 消化器 | 渡辺 消化器 | 森 糖尿病・膠原病 | 羽賀 循環器 | 吉田(勝) 循環器 | 柳澤 呼吸器 |
| | | 今村(亜) 循環器 | 橋本 呼吸器 | 今村(亜) 循環器 | 渡辺 消化器 | 大高 循環器 | 多田 第1・2・3 腎臓 |
| | | 岡田 休診 消化器 | 小嶋 循環器 | 吉田(勝) 循環器 | 伊藤(隆) 脳神経 | 伊藤(隆) 脳神経 | 担当医 |
| | | 森 糖尿病・膠原病 | 鈴木(重雄) 消化器 | 横崎 消化器 | 岡田 休診/代診 森 消化器/糖尿病内分泌 | 岡田 休診/代診 森 消化器/糖尿病内分泌 | 担当医 |
| | | 岡城 循環器 | 伊藤(隆) 脳神経 | 栗木 消化器 | 岡城 循環器 | 橋本 呼吸器 | |
| | | 吉田(由) 糖尿病内分泌 | 多田 腎臓 | | 吉田(由) 糖尿病内分泌 | | |
| 外科 | 午前 | 川崎 | 今村(康) 外科 総合診療科 | 神谷 | 今村(達) | 今村(康) 外科 総合診療科 | 川崎 |
| | | | 勝野 | 河合(純) | 川崎 | 神谷 | 河合(純) |
| 眼科 | 午前 | 半田 | 半田 | 半田 | 半田 | 半田 | 半田 |
| | 午後 受付時間 | 半田 13:30~15:30 | | 担当医 13:30~15:30 | | 半田 13:30~15:30 | |
| 小児科 | 午前 | 植 廣田 | 植 廣田 | 廣田 | 植 | 植 廣田 | 植 廣田 |
| | 午後 | 植/廣田 15:00~16:00 | 植/廣田 15:00~16:00 | | | 植/廣田 15:00~16:00 | |
| 皮膚科 | 午前 | | | | 休診 | | |
| 整形外科 | 午前 | 中里 | 松本(美) | 相羽 | 松尾(英) | 中里 | 松本(美) |
| | | 松尾(英) | 河原 | 矢崎 第3・5 10:00~ 田中 第2・4 10:00~ | | 栗本 9:30~ | 中川 第1・3 早川 第2・4 |
| 歯科・口腔外科 | 午前 | | 担当医 | 担当医 | 担当医 | 担当医 | |

専門外来

◆内科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---|---|---|
| 糖尿病内分泌 和田 9:00~12:00 | | 糖尿病内分泌 伊藤(雅) 13:00~ | 禁煙外来 橋本 14:00~ | | |
| 消化器・肝臓 栗木(第3・4) 13:30~15:30 | 循環器 水谷(浩) 13:00~15:00 | 呼吸器 柳澤 予約制 14:30~15:30 | 消化器・肝臓 栗木 14:30~15:30 腎臓 多田 13:30~ | | |

- ★外来は、原則として予約とさせていただきます。
- ★受付時間 午前8:30~11:30
- ★診察時間 午前9:00~12:00
- ★都合により担当医師が変更となる場合があります。
- ★急患の場合はお電話ください。
- TEL.0568-21-0811(代表) 時間外・休日にも診察致します。

◆外科

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------------------------|---------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 乳腺外科 石原 予約制 9:00~10:30 | 脳神経外科 飯塚 予約制 | 泌尿器 担当医 一部予約制 14:00~ | 泌尿器 遠山 14:00~15:00 | 乳腺外科 佐藤 予約制 14:00~16:00 | 脳神経・脊髄外科 西村 (第1・3) 9:00~11:30 |
| 泌尿器 河合(昭) 13:00~16:00 | | | 脳神経外科 担当医 (第2・3) 14:00~16:00 | 脳神経外科 担当医 (第1) 14:00~16:00 | |
| 小児外科 勝野 13:00~16:00 | | | 脳神経外科 飯塚 (第4・5) 14:30~16:30 | 脳神経外科 飯塚 (第2・3・4) 14:00~16:00 | 泌尿器 鈴木(晶) (第2・4) 9:00~12:00 |
| 内分泌外科 日比(八)(第1) 予約制 15:00~16:00 | 緩和ケア 秋山 13:00~16:00 | | 血管外科 今枝 14:00~16:00 | | |
| 内分泌外科 酒井(第3) 予約制 15:00~16:00 | | 脳神経外科 吉田(純) 予約制 15:00~16:00 | | | |

災害訓練を行いました

あけましておめでとうございます。新年早々縁起でもないと言われそうですが、備えあれば憂いなしということで、当院が毎年行っている災害訓練（正式には大規模災害時初期対応訓練と言います）を今年度は昨年11月10日に行いましたので、そのご紹介をさせていただきます。



南海トラフ地震をはじめとする大きな地震がいつか近いうちにおきると久しく言われております。北名古屋・清須・豊山2市1町には県の災害拠点病院がなく、公的な災害医療の備えとしては災害派遣隊として当院に愛知県から認定を受けた「愛知DMAT」1隊があるのみです。それでももしひとたび大地震がおこったら、たとえ当院が被災していても地域の患者さまの健康の砦として診療を続けなければなりません。災害が発生した時に何を準備してどんなことをすれば患者さまを守ることができるのか、そして偶然災害の発生時に居合わせた職員が潰れてしまわないようにどんなことをすればいいのか。これは事前に訓練をして準備をするかしないかで大きく結果が変わってきます。当院では東日本大震災より前から毎年この訓練を行っており、今回10回目の開催となりました。

想定は南海トラフ地震によって震度6強の地震によって建物もライフラインも被災した、というものです。実際には当地での想定はそれよりやや軽いともいわれますが、きつめの想定で訓練するのはよいことです。

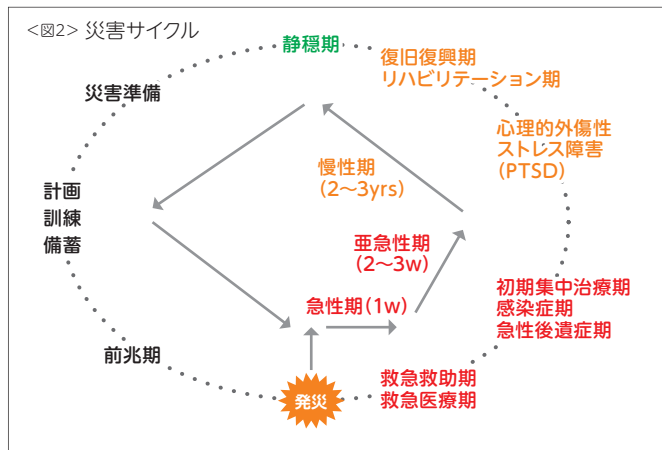
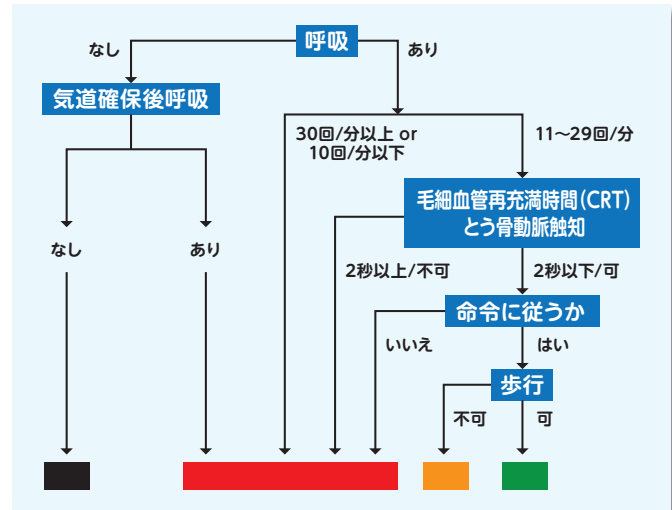
午後2時から災害対策本部を立ち上げ、それから当院に直接来院された負傷者40名に対して約1時間のうちに重症度と病態に応じて必要な初期治療を行います。同時刻にこれと連動するかたちで健康ドームでは北名古屋市長主催の救護所訓練が行われており、ここでは20名の負傷者に対して西名古屋医師会から派遣された先生（今回はさし内科の佐橋院長先生）によって初期対応がなされ、重症者の当院への搬送が行われます。合計すると約50名の患者さまが短時間のうちに当院に詰めかけるといった訓練想定です。

災害医療の3Tという大切なポイントをご存知でしょうか。

3つのT、すなわち①トリアージ=ふるい分け(Triage)、②処置(Treatment)、③搬送(Transportation)です。ふるい分けなんていうと患者さまに失礼なのですが、これは災害時にたくさんの患者さまに対して「すこしでもたくさんの助かる命を救う」ためのまぎれもない最重要キーワードで、ほぼ世界の共通言語と言っていいものです。負傷者をできるだけ短時間、目安はおひとり15秒で緊急度によって4つに分類し、わかりやすいように色で分類します。■は生命維持に必要な気道・呼吸・循環・意識(脳)に異常を来しているが直ちに対応すれば救命できる可能性が高い「緊急治療群」。■は入院対応であるがすぐには生命に支障はなく■よりは待てる「準緊急治療群」。■は治療不要か軽い処置ですむ「軽症群」。そして■は残念ながら生命徴候のない「不搬送群」。その色で分けた治療エリアごとに限られたマンパワーと医療資材で対応しながら、次の更なる治療のために院内外に搬送するのを待つという訓練です。

図1はこの分類の仕方を表したものです。イギリスで考案された方法で「START法」といい、これが今の災害医療の標準プロセスとなっています。実際には、まず歩けるかどうかによって歩ける方は原則■、そうでなければ■か■か■。そして■の患者さまを歩けない方の中から見つけ速やかに治療エリアに送り、そこで救命のための初期治療を行います。訓練シナリオの中には■と置いていたら経過中に急変して■に変わったためエリア間で急遽移送が行われる場面もあります。あえて意地悪なシナリオにすることによって、本当に患者さまの急変があった場合にでも対応できるような能力を身につけることが期待できます。

<図1> START法



災害医療は一般に医療の需要が供給を大幅に上回った状態と定義されます。もちろん普段はその逆なわけで、こういう状態はなにも震災に限ったことではありません。列車や飛行機、車の多重事故や大規模水害、またインフルエンザの大流行や集団食中毒なども、医療の供給量との兼ね合いで「災害」となることはあり得ます。未然に防ぐ対策、つまり事故防止のとりにくみや水防訓練、そしてワクチン接種や正しい医療知識の習得は最も大切です。

災害にはサイクルがあるといわれます(図2)。災害が起きて初めの時期の対応、ついですが落ち着いたからの対応と、時期に応じてすべきことが変化します。今、当地は「災害準備期」にあると言えます。この時期に何も想定せず過ごすのと、何かおきたときのことを考えて準備しておくことは、おそらく結果に大きな違いをもたらします。災害が起きても少しでも被害を少なくできるよう、それぞれの立場で備えをしておいていただきたいものです。

最後になりましたが今回の訓練にお越しくださりご指導いただきました県・市町の行政関係者の皆様はじめ来賓の皆様、傷病者役を買って出ただいた愛知黎明高校や尾北看護専門学校の学生さんや地元の関係団体の皆様、そして一生懸命準備し訓練に励んだ当院のスタッフの皆さんに篤く御礼申し上げます。今年も地域の皆様にとって幸多い一年となりますよう心より祈念申し上げます。

理事長 今村康宏

- 1月1日(火) 元日
- 1月1日(火)~2月28日(水) 「はたちの献血」キャンペーン
- 1月7日(月) 七草 ●1月11日(金) 鏡開き
- 1月14日(月) 成人の日 ●1月20日(日) 大寒

募集 看護師
◆常勤 ◆パート
お問い合わせは TEL 0568-21-1615 総務課へ

同時募集
看護助手 臨床検査技師 理学療法士 作業療法士
言語聴覚士 ケアマネージャー 管理栄養士 栄養士
薬剤師 臨床心理士 臨床工学士 調理スタッフ